

各務原市

## 前渡地区木曽川周辺整備が起工



完成イメージ



鎌入れの熊田社長（左）と浅野市長



鎌入れの佐々木社長

葛井を代表企業とする各務原トライアングルJVは15日、PFI（公募設置管理制度）を採用する「各務原市前渡地区木曽川周辺整備事業」の起工式を岐阜県各務原市の現地

運営＝葛井 設計・監理＝スペース 施工＝オノコム



鋤入れの渡邊取締役CH O

で開いた。関係者約20人が出席した。運営は葛井、設計・監理はスペース、施工はオノコムが担当する。12月の開業を目指す。神事では、浅野健司市長と葛井の熊田光男社長が鎌（かま）

入れ、スペースの佐々木靖浩社長が鋤（くわ）入れ、オノコムの渡邊直樹取締役CH Oが鋤（すき）入れを行い、工事の安全を祈願した。

出に期待する」とあいさつした。熊田社長は「われわれを選んでよかったと地域の皆さんに思っていただけのような整備・運営を行っていく」と述べた。

同事業では前渡西町の敷地約1・95畝に木曽川前渡南公園を新設する。ダイグラミング施設や自転車競技を楽しめるBMXパークなども整備する。契約期間は2044年5月31日まで。



砂本ネルソン工事本部工事主任（オノコム）の話

「無事故での施工を第一目標に、来園者に喜んでもらえる場所をつくる」

